

平成 20 年 1 月 4 日

自由民主党
総裁 福田康夫 様

要 請 文

私たち「元軍人・戦争体験者等が構成する平和団体」は、日本と世界の平和を守り、戦争のない世の中を子孫に引き継ぐために、「新テロ対策特別措置法案」に断固反対いたします。

つきましては、添付した資料などから、私たちの思いをご理解いただきまして、本法案の不成立に向けて御尽力下さいますことを、強く要請いたします。

以上

要請団体

○不戦兵士・市民の会

会長 大石嗣郎

代表理事 齋藤一好

○関東日中平和友好会

会長 花園昭雄

○日中友好元軍人の会

代表幹事 沖松信夫

○撫順の奇蹟を受け継ぐ会

代表 仁木ふみ子

要請団体事務局：不戦兵士・市民の会 （担当理事：谷口、大野）

150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-18-11 サンモール道玄坂 325

tel 03-3461-4160 fax 03-5489-4847

私たちの考え方 (1988年創立時)

- 1 本会は、国際紛争の解決は戦争によらず、すべて平和的手段によることを主張する。
- 2 本会は、わが国の憲法第9条の精神を遵守し、世界の平和を希求する。
- 3 本会は、市民による、市民のための、市民の国家体制に逆行するあらゆる思想、言動、政策に反対する。

「不戦兵士の会」創立主旨

戦後はや40年、古希も近いこの頃になって、ようやくかつての悲惨だった戦争を思い、最近の戦前回帰の風潮に真の恐ろしさを感じるようになりました。まことに蛍光灯の如き遅い反応にいささか恥ずかしい気持ちですが、さりとてこのまま何もせずに時の流れに消え果ててしまうのも悔しく、何か大事なことを忘れているような気が致します。

終戦から今日まで、喜びも、苦しみも楽しみも、いろいろと経験し、人々にはそれぞれの考え方があることやお互いに譲り合って生きていくことの大切さ等も学びましたが、私どもはただ一つ悲惨な戦争を体験し、からくも生きながらえ、極限に追いつめられた人間がどのような行動をしたか、生き地獄絵図を見てきた数少ない生き証人として共通の地盤にたっていると思います。

それゆえに、私どもの出来ることといえば、かつての戦争はいかにして起ったか、戦争というものが、いかに非人間的なものであったか、そして国家の指導者たちのエゴから終戦の決断が遅れて、その結果、いかに多くの国民が犠牲に供されたか等々について、歴史の生き証人として後世に伝えることではないでしょうか。そしてそのことが間接的に軍縮平和への道に通ずるのであれば、このさい重い腰を上げて機会を掴んでは世に訴える努力を致したいと存じ、この度「不戦兵士の会」を結成することに致しました。

戦前回帰を声高に叫ぶ一握りの人々に対し、もの言わぬ多数の良識ある人々が手を携えて平和な民主社会の確立に立ちあがることは、いま極めて大切なことと存じます。立ちあがるときに立ちあがらなければ、悔いを千歳に残すでしょう。

皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻のもとに当会をより強固なものに致したいと存じます。

1988年1月

不戦兵士の会

不戦兵士・市民の会

50-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-18-11
 tel 03-3461-4160 fax 03-5489-4847
 E-mail fusen@kmj.biglobe.ne.jp
<http://www.home.f01.itscom.net/fusen>

